

令和6年度 政務活動費実績報告書

誠政気魄

	調査研究実績内容	摘要
令和6年 4月25日	研修会 日経ホール 魅せるアリーナが拓く 地域創生の未来 何が人を惹きつけるか～スポーツ施設の可能性～ 「スポーツを通じた社会課題の解決」 「地域スポーツに関わる事業継承とM&A」 「アリーナの存在意義とは ～アリーナを中心とした地域の現状と課題、企業との関わりについて～」	谷口
5月22日	東京都大田区役所に視察 カラス対策 「クロウ（カラス）コントローラー」による取り組みについて クロウコントローラーは赤外線がカラスを感知し、カラスが警戒時発する鳴き声を発生する装置を、区で5台購入し、カラス被害がひどい集積場所に3～4ヶ月間貸し出し、カラスがごみ集積場に近づかない取り組みをすることで成果をあげているとのこと。また、この取り組みをすることで、集積場を利用する住民の意識にも変化があり、ごみがネットからはみ出さないように心がけることで、カラス被害が減った。	谷口
5月20日～ 5月22日	1. 敦賀市 ちえなみき視察 富山市内に3店舗在った明文堂書店が、本年2月に全て閉店した。また、9年間にわたり書店が無かった立山町では、庁舎敷地内に、書店を併設したコンビニエンスストアが4月に開店した。書店空白地域ではない敦賀市が公設民営書店を設置した理由等を調査・研究し、今後の本市の状況を見極めて参考とする。 2. 姫路市役所視察 スマートメーターを使用して検針を行えば、正確な検針が行えるうえ、省力化や積雪時のみなし検針による清算の手間等が不要となり、メリットが多いが、本市での採用の参考とするため、調査・研究を行う。	橋本 尾上

7月9日～ 7月10日	3. 広島市役所視察 本市においても、公共交通空白地域においてコミュニティバス等を活用しているが、より住民のニーズに合った公共交通とするため、調査・研究を行う 京都テルサ 研修 現場から見る不登校支援 ・増加の一途をたどる現在の「不登校」とは ・誰1人取り残さない不登校支援とは ・ヤングケアラーなどの様々な課題に何ができるか ・保護者の声と不登校支援の実際 堺市上下水道局 視察 下水道管路施設維持管理等業務を初め、「水道メーター検針・料金収納等業務」「水再生センター施設維持管理業務」の3つの業務について包括的民間委託を行っており、人件費の削減や市民サービスの向上、市職員の働き方改革など、効果は出ているとのことで、その他の業務についても、包括的民間委託の検討を行っているとのことであった。一方で、市職員の技術力向上や施設や設備の特徴などの把握などの課題も多いとのことであった。	橋本 尾上
8月1日～ 8月2日	東京都 国際ビル 研修 公共施設更新費用と財政的な視点 ・将来の費用と財政的な視点 ・国が用意している財政措置の理解 ・いま考えないと街が破綻する ・自分の街の状況を類似団体と比較してみる インフラの老朽化問題 ・水道管や道路の老朽化問題 ・災害から学ぶインフラ政策 ・インフラ政策のリアル ・人口減少時代に考えるべき都市政策と国の方向性	谷口

10月10日	公共施設の中で学校施設が占める割合は高く、こどもの数が減る中、統廃合は避けて通ることはできない問題である。 統廃合する場合は住民の合意形成が重要なことは言うまでもないが、廃校になった施設をどう活用していくかが大きな課題である。 公共施設の建設には国庫支出金や有利な地方債などがあり、実質的な支出は少なくできるが、建設した後の維持管理費や補修等にかかるお金に関しては各自治体の負担となるため、長期を見据え整備していかないと破綻することになる。 自治体における予算配分は、圧倒的に土木費が多く、しかも、整備から長い年月が経過し、更新を迎えているものが多く、長寿命化を図りながら、計画的に整備していくことが重要である 第14回 農業WEEK 東京都心にて再開発を推進。緑に囲まれ、自然と調和した環境の中で多様な人々が集い、人間らしく生きられる新たなコミュニティの形成を目指す麻布台ヒルズについて学び、本市における再開発事業や奥田団地の今後を考えるため。 農業分野における人材は減少しており、それに伴い、耕作放棄地が増加し、社会問題となっている。少ない人材で広大な農地の維持管理やコストを抑えた農業について学び、本市の農業の未来を考える。	谷口 尾上
---------------	--	---------------------

	調査研究実績内容	摘要
10月10日	環境庁視察 行政代執行による災害家屋の解体について 1月1日に発生した能登半島地震で倒壊した家屋等の本県における公費解体の進捗率は、8月末現在で約7%とほとんど進んでいない状況となっている。今後南海トラフ地震など、能登半島地震を上回る地震が発生する恐れもあり、今回の対応等の聞き取りを行い今後の参考とするため。	谷口 尾上
10月30日～ 11月1日	宮城県石巻市役所 視察 本市においても、少子・高齢化や核家族化などの進展に伴い、コミュニティの維持が困難になっている自治会や町内会があると仄聞している。今回の視察をとおして、持続可能な地域社会づくりを学び、本市のコミュニティ維持の参考とする。 あきた芸術劇場ミルハス中核市サミット カーボンニュートラルを実現しようとする、経済活動が低迷する可能性があり、地域振興を進めつつカーボンニュートラルを実現する手法を学ぶため。 歴史と文化を生かしたまちづくり(城下町と新屋編・Aコース) 秋田キャッスルホテル、秋田市新屋ガラス工房 他視察	谷口 尾上
11月11日～ 11月14日	北海道 釧路市阿寒湖義務教育学校 視察 本市にでも、水橋地域において、義務教育学校の設置に向けて事業が進められており、義務教育学校のメリットを十分に活かすことのできる学校とするための参考とする。 釧路市水産港湾空港部 視察 富山湾は「天然のいけす」と呼ばれるほど、豊富な海産物が獲れる。もっとPRを上手に行い、知名度を上げることで本市の水産物の価値を高める参考とするため	橋本 谷口 尾上

1月16日～ 1月17日	根室市役所 超高齢社会の進行に伴い、介護需要が増加し、介護士不足が顕著になっている。介護機器導入の効果や課題を調査し、本市の参考とする 北方領土問題対策協会 北方館 本県は北海道に次いで北方領土からの引揚者が多く、毎年返還運動も行われている。現地を訪れ、北方領土問題の史実や苦難を強いられてきた人々の歩み、領土返還のための絶えまない活動について、あらためて理解を深め、旧島民や家族の願いを結実させることの大切さを市民に啓発するため。 地方議員研究会 リファレンス西新宿大京ビル 交通空白と地域公共交通の役割 ライドシェアの基礎と課題 交通崩壊の解決策と各地の事例 地域公共交通に求められる役割と価値には、地域住民の移動手段の確保、人の交流の活発化、まちの賑わいや健康増進、コンパクトシティの実現が考えられ、利用する人によって公共交通に対する価値観の違いもあり、住民全員が納得できる公共交通は難しいが、高齢者の外出機会の増加や立地適正化計画と連携させながら、公共交通を維持していくことが大切である。 本市においても、交通空白地域の解消の為、コミュニティバスやデマンドタクシー、パークアンドライドなどに取り組んできているが、利用が伸びず廃止を検討する案が発生している中、どう公金を投入しながら、維持できるかを住民主体で考えていく必要があると考える。	橋本 谷口 尾上 谷口
-------------------------	---	-----------------------------------